

SawamotoDentalOfficeNews

2015年2月号



立春とは名ばかりで、まだ寒さ厳しき日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？
風邪などひかないようにお気を付け下さい。
今月の澤本新聞は歯科助手の戸村が担当させていただきます。



●おとなの矯正ははじめませんか？

「もっと口もとが引っ込んでいたら」、「最近前歯が出てきたみたい」、なんてため息をついている方はいらっしゃいませんか??

こういった方におすすめなのが歯科の矯正治療です。

歯並びが整うだけでなく、顔の骨格のバランスが改善され、フェイスラインがスッキリします！

矯正治療はおとなにとっても、強い味方なのです。

●こんな口もと気になってる？

・出っ歯



上あごが大きいとか下あごが小さい、あるいは歯が前に出ている。
口を閉じて口もとが飛び出て見えるケースです。歯周病で歯が動き、出っ歯になることもあります。その場合は矯正を始める前に、歯周病の治療が必要です。

・叢生



あごが狭いため歯が並びきれず混雑しています。日常生活には支障がなく、フェイスラインに影響のないものも多いですが口を開けると歯並びの悪さが目立ちます。
あごの骨格が完成しているおとなの矯正では、抜歯が必要になることが多いです。

・受け口



下あごが上あごより大きく、噛み合わせに問題が出たり、フェイスラインに影響があります。普通は下あごの歯を抜歯し、並べると治りますが、非常にあごが大きい場合は骨の外科手術で治すことができます。

・開口



奥歯を噛んでも前歯が閉じません。一見歯並びが整っており問題がなさそうに見えますが、奥歯にばかり負担がかかり、顎関節症になりやすいうえ、将来奥歯を失うリスクが高いケースです。

●きれいな人は頭蓋骨がきれい。

矯正治療は歯を並べるだけでなく骨格を理想のバランスに近づける治療でもあります。

骨格が変わるとフェイスラインも変わります。

美人を決定づけているのは実は頭蓋骨のバランス。

骨格の調和が取れると横顔が変わります。



●メンテナンスですっきりきれいに。

治療が終わったら、後戻りを防ぐために毎日保定装置を使っていきましょう。

また、治療後の経過観察のために、定期的に歯科医院に通いましょう。

おとなのお口は、長年のあいだに定着している舌などのクセの影響を受けやすいのです。

治療後も定期的にチェックを受けて「きれいな状態を長く保っていきましょう。」

※保定装置の装着は少なくとも2年間はしっかり続けましょう。

その後のきれいな口もとの維持に大きな結果を発揮します！



いろいろなタイプの保定装置。
しっかりと使い続け、メンテナンスの
ときにはお持ちください。